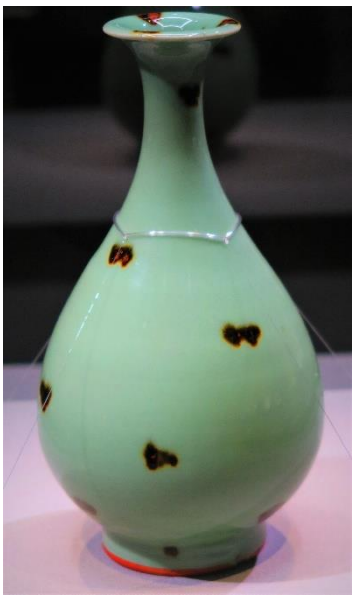
2023-5-10

美術館訪問～泉屋博古館東京「安宅コレクション」展

山本 雅晴

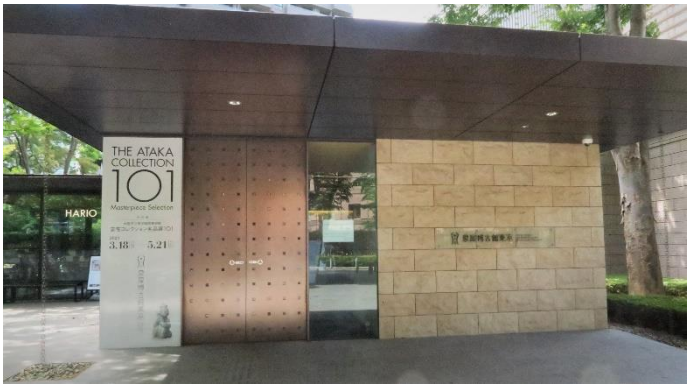
大阪の大阪市立東洋陶磁美術館が改修工事で休館しており、そこの**「安宅コレクション」**の名品 101 点が住友系の東京の美術館に展示されていた。大阪市立東洋陶磁美術館には 10 回訪問したことがあり、今回の作品も何度も鑑賞している。今回の泉屋博古館東京での展示で初めて作品の撮影が許可となっていた。最近の国内の美術展ではこの傾向が強くなっている。今回の**「安宅コレクション」**の名品選 101 での展示品は国宝の飛青磁 花生、油滴天目 茶碗 2 点他優品ぞろいで、30 年前に大阪市立東洋陶磁美術館の開館時に出版された本に記載されている通りの内容だった。一部の展示作品を写真撮影したので、下記に示す。安宅産業(株)の安宅英一氏の美意識によって収集し、散逸の危機に住友グループが大阪市に資金提供して救った美術品である。



1. 国宝・飛青磁 花生 龍泉窯

2. 五彩 牡丹紋 盤 :景徳鎮窯 明・万暦 81573~1620）

3.加彩 婦女俑 唐時代



4. 泉屋博古館東京 美術館入口：六本木一丁目

5. 美術館エントランス・ホールの壁面のＰＲ